

## 御挨拶

国際交流推進室ニュース第14号をお届けします。ご存知のように、繊維学部には多くの留学生が学んでいます。ちょうど2年前の第10号の記事で報告させていただいた時にはアジア中心の6カ国、48名だった留学生の数が、いまや、アジア、ヨーロッパからアフリカ大陸に至るまで合計13カ国、72名にまで広がっています。現在、上田キャンパスには約1,500名の学生が学んでいます。その約5%は留学生という計算になります。海外からの訪問団や著名な招聘教授の先生による講演会、国際交流イベントも年々増えてきており、年2回の発行では、もはやその全てを詳しくご紹介できないくらいになってきております。その中でも最近の選りすぐりの国際交流関連の記事を本号にてお楽しみください。今後とも、皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

## 留学生研修旅行の実施

2016年8月26日から27日の2日間、留学生の日本文化体験のための研修旅行を実施しました。今年度は、留学生34名、引率教職員3名が参加し、鎌倉・沼津方面へ出かけました。1日目は、鎌倉の大仏、長谷寺、鶴岡八幡宮を見学しました。たいへん天気が良く、30度を超える暑さの中でしたが、学生たちは大仏やお寺の独特の雰囲気にとっても興味津々で、思い思いに写真を撮ったり、敷地内を散策したりしていました。2日目は沼津のビーチで海水浴と駿河湾クルーズを楽しみました。日本の海を初めて見たという学生も何人かいて、海水浴もクルーズもとても良い思い出となったようです。国籍も専門も違う留学生同士、交流も深まり有意義な研修旅行となりました。



鶴岡八幡宮にて記念写真

## 日中韓大学院生シンポジウムを開催

2016年9月、日中韓大学院生シンポジウムを開催しました。今年度は韓国のソウル大学校で開催され、繊維学部からは12名(学部3名、修士課程9名)の学生が参加しました。参加学生は織

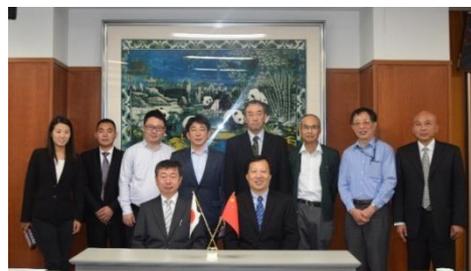
維関連分野の講義および研究課題の発表と討論を通じて3カ国間の学生同士の交流を活発に行いました。また、講演プログラムの終了後には、史跡、文化施設の見学を行い、韓国文化への理解を深めました。



会場前にて記念写真

## 中国 南通大学一行来訪

2016年10月11日、中国の南通大学より張瑜副院長ら4名が繊維学部に来訪し、学部紹介とリーディングプログラムの紹介、今後の学生の交換留学に関する意見交換を行いました。その後、産業用繊維製品や個人防護服に関する学術交流を行い、Fii棟の見学もいただきました。



張瑜副院長(前列右)と下坂誠繊維学部長(前列左)とを囲んで記念撮影

## ブラジル パラナ州視察団一行来訪

2016年10月17日、ブラジルのパラナ州よりパラナ日伯商工会議所会頭ら14名が繊維学部に来訪しました。繊維学部の紹介の後、農業組合員の方もいらしたため、植物工場の紹介もさせていただきました。その後、ロボティックウェア curara®



パラナ州視察団一行との記念撮影

をはじめ、バイオエンジニアリングコースの施設見学をされました。皆さん、たいへん興味深く見学されていて、今後もさらに交流を深めていきたいというお話もいただきました。

## Terrones 教授による特別講演

2016年11月14日、アメリカペンシルベニア州立大学 Mauricio Terrones 教授による特別講演「Nanocarbon Assemblies Across Dimensions: From Fundamentals to Medical Applications and Supertough Fibers」が行われました。Terrones 教授は、2010年から2014年まで「信州大学エキゾチック・ナノカーボンの創成と応用プロジェクト拠点」の特任教授でもいらっしゃいました。講演では、ナノカーボン材の基礎から医療への応用、超強靱繊維等についてお話いただき、講演後も本学の先生方と活発な意見交換が行われました。

## カケハシ・プロジェクトの採択

信州大学は、日本政府が推進する事業である「対日理解促進交流プログラム カケハシ・プロジェクト」に平成28年度派遣校として採択されました。本プロジェクトは日本と北米地域の間で、対外発信力を有し将来を担う人材を派遣し、日本の外交姿勢や魅力について積極的に発信してもらうことで対日理解の促進を図るものです。各学部から定員23名を大幅に上回る82名の応募があり、三段階の審査の後、繊維学部からは6名の学生が派遣されることが決定しました。学生は、2017年2月8日から15日の8日間、ワシントン州シアトルに派遣され、米国の大学生との交流、日本と米国企業の視察、歴史的・文化的施設の訪問等を行う予定です。

## 信州大学国際交流会の開催

2016年11月26日、東京・学士会館にて信州大学国際交流会が開催されました。本会はグローバル教育推進センターが中心となり、大学全体としてのグローバルネットワークの構築と本学並びに本学同窓生の国際交流活動の促進を目的として開催されました。参加された玉田副学部長より報告をいただきました。

「11月26日に東京・学士会館において開催された信州大学国際交流会に参加させて頂きました。多くの留学卒業生や在学生、教職員、あるいは国際交流に関わる関係者らによって会場

が一杯であり、とても盛会でした。繊維学部卒のモンゴル国前鉱業大臣のジグジット氏の講演では、モンゴルの将来を背負って来日し、信大での留学経験を活かしモンゴルと日本との交流の柱になったお話には、国際交流のなかでの留学生の重要な役割を実際の話として実感することができました。後半の交流会においても、多くの留学生や卒業生と気軽にお話をすることができ、このような交流が今後信大の国際交流や卒業生の国際ネットワーク作りにとっても有効であると感じました。」

## 繊維学部留学生の動向

2016年9月26日に秋期の学位授与式が開催され、2名の博士課程学生と1名の修士課程学生を送り出しました。また10月には、3名の博士課程学生と7名の研究生が入学しました。これで、11月現在の繊維学部(修士課程、博士課程含む)の留学生の総数は72名となりました。

### 繊維学部への留学状況(課程と出身国)

博士課程	17	中国	44
修士課程	24	マレーシア	5
学部	15	韓国	4
研究生等	16	ベトナム	4
計	72	インドネシア	3
		パキスタン	3
		モンゴル	2
		フランス	2
		タイ	1
		ドイツ	1
		モロッコ	1
		フィリピン	1
		スイス	1
		計	72

## 国際交流推進室 室員紹介

平林公男(室長、応用生物科学科)  
 西川 敦(副室長、バイオエンジニアリングコース)  
 金 翼水(副室長、機能機械学コース)  
 鮑 力民(機能機械学コース)  
 ハニウッド マイケル(感性工学コース)  
 平田雄一(応用分子化学コース)  
 金井博幸(先進繊維工学コース)  
 福長 博(ファイバー材料工学コース)  
 パタキー トッド(バイオエンジニアリングコース)  
 キャンー マクナミー(応用分子化学コース)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス (fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆ 国際交流推進室ホームページ ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>